



「やつたぞ」時津山 國技の鉄傘をゆるがす

郷土出身の時津山は、初日以来はきれるような好調ぶりを見せ、昨九日目は相撲の神機横綱錦帯を叩き出す金銀をあげ、一躍技能、敢闘、殊死、胆力、天のツツ候補にのしあがり、連日ラチオにのみく地元のファンを興奮のルツボに巻き込んでいたが、時津山後援会副会長長山晴吉(古河)は「三丁目みやや呉服店」は二十三日(日)の急行で東京へ来るべき調子で、一戦にまわって大賞をわけてあげよう。

再度優勝成るか 残すは松登の二戦

おこしている。

大相撲場所も九日目を迎えて連日の激戦に幕のつぎしついでに物議を醸す。平田身時津山の奮闘は群を抜く。郷土の期待に応えて、初日、日守師の信天山を奇襲したのを始めに手ごたえ曲者の花、藤三根山をばたき、朝朝、千代の山には無念の涙を流したが九日目は、藤三根の相撲を「吊り出し」で破り、さしもの大敵をなぎとめ、今や時津山は有名人のまにまにに近づいている。

陸上石城代表決る

期待される来月五日の県大会

- 石城地区陸上競技会では来る六月五日福島市信五郎競技場で開かれる第五回地区対抗東北六県予選陸上競技大会に出場する石城地区代表選手を決めた。なおこの代表選手は来る十五日平市常盤競技場で開いた競選会に決した。
- 「一般男子」
 - ▽百メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽二百メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽四百メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽八百メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽千五百メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽三千メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽五千メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽一万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽二万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽三万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽四万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽五万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽六万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽七万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽八万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽九万メートル 渡邊和雄(常盤)
 - ▽十万メートル 渡邊和雄(常盤)

戦線の統一を協議 警炭労第七回定期大会

警炭労第七回定期大会は二十二、三日の両日平市労働会館に十四支部代表五十名が集って開き、「労働戦線の統一」など六項目の議題を協議した。このうち六項目の議題を協議した。このうち六項目の議題を協議した。

平の住宅敷地決る

平市建設課では三十年度市営住宅五十四戸分の敷地を検討していたが、この種神宮寺後原地区の水田三平七百五十一坪(地主志賀信吉氏)を借受ける事に契約した。この敷地は官営の住宅建設用地に拡大するもので市営住宅の他に県営住宅十戸を建てる計画もある。この土地の独立して工事は古河新聞紙が行う事になつており、これが完成すれば同地区内は一火災圏となる。

本社から激励電打つ

好調を維持している時津山に對し二十四日日本社では「ガンバル時津山、最後まで敢闘を祈る」と激励電を打った。

昭和工業勝つ 四倉野球大会

二十二日午前八時から四倉中校庭で行われた。同町松本(会長菅波茂氏)主催町内一般社会人軟式野球大会は、小雨降る中で、七組チームが参加して熱戦を展開した結果、昭和工業が、大対決でセメントを破り、松本会並に官渡杯を獲得した。

親善高校野球

原町高校チームを招待した警高、四高の三高校親善野球リーグ戦は二十二日警高、二十三日四高の両球場で開催した。戦況次の通り

- ①政治部を設け、組合の公認、国、県職員は政治部に属し、労働の運動方針に無関係とする。
- ②企業協議会対立委員会を結成し、労資協力を推進する。
- ③労資協力を推進する。
- ④労資協力を推進する。

文部省選定 全国PTA協議会推薦映画
第一回文豪室生すい星原作「性に目覚める頃」の映画化

青山京子 久保菜穂子

文部省選定 天然色 世界中を楽しまで包んだ オトキ映画の傑作 ジェイガーランド

25日→31日 聚楽館

高田浩吉 草笛三郎 伴淳三郎 木暮実千代

25日→31日

津島恵子 新珠三千代 岡田英次 若原雅夫

そのめくえ

登録商標(日本金銭登録機改名)
国松金銭登録機
数種類販売
萩金庫商會
北行店 東代
平市中央通り TEL65 1352

